

10代のための本棚



てい〜んず情報誌Vol.38

墨田区立図書館 2022年1月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

たくさんのご応募、ありがとうございました！

中学生・高校生のための POPコンテスト 2021

図書館でいう「POP（ポップ）」とは、おすすめしたい本を紹介するためのメッセージカードのことです。墨田区立図書館では、毎年、中学生・高校生を対象とした「POPコンテスト」を開催しています。

2021年も区内の中学生・高校生から「よみもの部門」1,110作品、「絵本部門」306作品の力作の応募があり、受賞作品が決定しました。

各部門から、特選と準特選の作品を受賞者からのコメントとともに紹介します。

よみもの部門



特選 寺島中学校3年 生方 漣 さん

どの世代でも読みやすいことと題名や表紙のイラストに興味をひかれました。

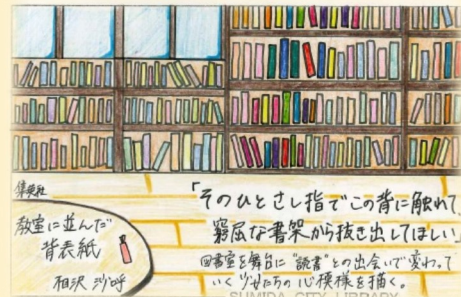
本の紹介で目をひくのはイラストと内容を簡潔に伝えられるかだと思い、本のイラストを忠実に再現し、字体や文字の構成も意識して、見た人が興味をひくように努力しました。



準特選 立志舎高校2年 須川 双葉 さん

ミステリアスな事件が起こりそうなタイトルにひかれました。人間の素直な気持ちや優しさに気づかされる作品です。

魔女の怖さや死というフレーズの暗さが前面に出ないように、影がありながらも爽やかさも感じられるように気がつかれました。

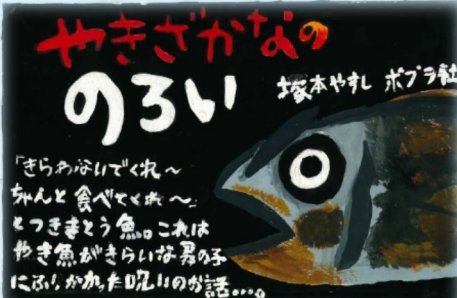


準特選 寺島中学校3年 今井 瞳花 さん

登場人物が私と似ていて、この人について知りたいという思い、この本を読みました。

人がひとりひとり違うように、本も1冊1冊違っていて、その中には自分にあう本あわない本があります。そして自分にあう本は意外と近くに存在することを色の明暗を使い表現しました。

絵本部門



特選 桜堤中学校3年 佐々木 七実 さん

以前、作者の塚本やすしさんに、お会いしたことがあり、この絵本の楽しさをたくさんの子どもたちに伝えたいと思いました。

焼き魚のこげている部分の色を表現するのが難しく、何度も絵の具を塗り重ねて表紙の色に近づけました。



準特選 桜堤中学校2年 小岩 心結 さん

優しさのある文章ひとつひとつから、今を生きることについて深く考えさせられます。

表紙のトラ猫の茶色のようなグレーのような色の中に温かみのあるオレンジや黄色を入れ、色が冷たくならないようにしました。

この他の受賞作品は、墨田区立図書館ウェブサイトでご覧いただけます。応募作品は、墨田区立図書館・コミュニティ会館図書室で、本の紹介に使用させていただきます。

画像なし

No Image

47都道府県ニッポン学び旅200 一旅するほどに心豊かに賢く！

梅澤真一／監修 朝日新聞出版 2021.7

「国語」、「社会」、「学活」、「理科」、「美術 & 総合」、「実践編」の6項目に分類され、遊び感覚で楽しく学べるように施設等を紹介。旅行ガイドとしてはもちろん、自由研究にも活用できる一冊。

古代文明と星空の謎

渡部潤一／著 筑摩書房 2021.8

ストーンヘンジは夏至の日の出を示し、ピラミッドは正確に真北を向いて建築されています。偶然ではなく、古代の人々は星空から精密な方角や暦を導き出していました。歴史上の遺跡などを天文学で読み解く、知れば知るほど面白い一冊です。

未来の医療で働くあなたへ

奥真也／著 河出書房新社 2021.10

著者は「医療未来学者」。様々な分析をして、どんな病気が治るようになるかを予測する学問です。未来の医療現場で働く10代に向け、進歩する医療の姿と、医師の心構えや進路について教えてください。医療の未来図をのぞける一冊です。

猫と東大。一猫を愛し、猫に学ぶ

東京大学広報室／編 ミネルヴァ書房 2020.11
東京大学の広報誌「淡青」初の在庫切れとなった大好評猫特集号をパワーアップして書籍化。猫を愛する理系文系双方の教授たちが登場、ネコゲノム解析など東京大学ならではのアカデミックな猫研究についてもやさしく解説します。本郷、駒場両キャンパスに棲む猫たちの和める写真も満載。



柘榴バズル

彩坂美月／著 文藝春秋 2021.5

家族が大好きな美緒を囲む、仲のいい家族の日常に、不思議な事件が相次いで起こる。一致団結して謎にあたっていく「山田家」に、忍び寄り怪しい影が――。物語は冒頭から不穏な空気を漂わせ、さらに随所に違和感が散りばめられた、ミステリー連作短編集。



カナコと加奈子のやり直し

額賀澤／著 KADOKAWA 2021.9

母校に赴任した菅野は、かつて自分の目の前で死んだ同級生・イシイカナコの幽霊と遭遇する。「せんせー、人生やり直してみない？」気が付くとそこは13年前の時間軸で…。理想と現実のギャップに悩む大人と大人にならなかった幽霊の人生をかけたほろ苦い青春物語。



セゾン・サンカンシオン

前川ほまれ／著 ポプラ社 2021.4.

さまざまな問題を抱えた女性たちが一緒に暮らす「セゾン・サンカンシオン」。やめたいのにやめられない、そんな依存症の苦しさを互いに助け合い、支え合い、困難な問題から逃げることなく乗り越えてしていく物語です。



サヨナラの前に、ギズモにさせてあげたい9のこと

ベン・ティヴィス／著 杉田七重／訳

小学館 2021.7

犬のギズモは少年ジョージのペット。友人でもあり大切な家族でもあり、ジョージをいつもいじめっ子から助けてくれるヒーローみたいな存在。ある日、突然ギズモが苦しみ出し…。犬と人との心温まるストーリー。

今年は『寅年』

えと じっかん じゅうにし

「干支」は「十干」と「十二支」が組み合わせさり60通り、つまり60年で一巡します。今年は六十干支でいう「壬寅（みずのえとら）」にあたります。この干支が表す時間の性質は「壬（草木の種子がはらまれる）」・「寅（草木が発生する）」です。

厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長があることを意味しています。

良い年になるといいですね。



参考

【日本人にとって干支とは何か】

武光誠／著 河出書房新社

十干	十二支
1 甲 きのえ	1 子 ねずみ
2 乙 きのと	2 丑 うし
3 丙 ひのえ	3 寅 とら
4 丁 ひのと	4 卯 うさぎ
5 戊 つちのえ	5 辰 たつ
6 己 つちのと	6 巳 へび
7 庚 かのえ	7 午 うま
8 辛 かのと	8 未 ひつじ
9 壬 みずのえ	9 申 さる
10 癸 みずのと	10 酉 とり
	11 戌 いぬ
	12 亥 いのしし

カッコいいトラになることを
夢見るみどりちゃん。
[緑図書館キャラクター]

駅伝競走

一月の二日・三日に行われた箱根駅伝をみましたか？

寒空の中で疾走する選手たち。

渾身の力を振り絞り仲間にタスキを託した後に崩れ落ちる選手。

一日千秋の思いでゴールで待つチーム。

仲間の想いと共にゴールへ駆け込んでくる選手。

仲間の絆をタスキで繋げるストーリーを読書で感じてみて下さい。

◆ 奔る男 一小説金栗四三 堂場瞬一／著 実業之日本社

◆ あと少し、もう少し 瀬尾まいこ／著 新潮社

◆ 風が強く吹いている 三浦しをん／著 新潮社

◆ 櫂を、君に。 蓮見恭子／著 光文社

◆ タスキメシ 額賀澤／著 小学館